

# ひろば

お便り

POST

## ◆私の「カルチャー・いんふお」◆

90歳を超えながら現役で活躍しているっしやる2人の女性をご紹介します。

・8月に「高橋秀+藤田桜+素敵なおふたり」@世田谷美術館を訪れました。おふたりは結婚後イタリアに移り住み、約41年、子どもを育てながら創作活動をされ、今は岡山の沙美海岸に住んで活動を続けています。秀さんの大きくて色使いのはっきりした絵などと、お住まいのリビングで手仕事される桜さんの布の貼り絵を同時に見ることができました。特に児童雑誌『よいこのくに』（よいこのくに社）の表紙（1952～89年担当）の桜さんの作品には懐かしい温かみを感じました。絵本『スパゲティならまけないわ』『びのつきお』（学研）などたくさんの著書もあります。おふたりに続けと、若い芸術家の卵たちに自ら奨学金を出してヨーロッパへの留学を応援しています。

・映画『天のしずく 辰巳芳子 “いのちのスープ”』（河邑厚徳監督 2012年）を見ました。辰巳さんが優しい味のスープの教室を開いていることを知ってはいました。そのスープは東日本大震災の避難所の保育園に届けられ、幼い子どもたちの口に入ったり、病気で終末期を過ごす患者さんの元に届けて、固形物が喉を通りにくい人々に喜んでもらったりしています。スープ教室に通う医師も若い看護学生に、たとえ一口でも喉を通る食べ物の大切さを説いています。映像の最後には瀬戸内の島にある長島愛生園という療養所の元患者宮崎さんとの交流も取り上げていました。辰巳さんは戦後に病で療養し、その後料理研究家のお母様を助け、病床のお父様のためにスープを作り始めました。スープを届ける患者さん、子どもたちへの愛、尊厳を語っておられました。だから手をかけ、時間をかけてスープや汁物を作るんだと。

(AK)

## ◆研究論文を募集します◆

ピアレビュー（査読）の上、掲載します。

本誌の巻末、横書き部分の「探究」ページに掲載する論文を募集します。

【テーマ】子ども、保育、幼児教育に関するもの

【文字数等】400字詰め原稿用紙35枚程度。

（写真・図表、文献、注を含む）

本文はワード原稿で作成してください。編集上適宜対応しますが、投稿予定の方は下記のアドレスまでメールでご相談ください。

【締め切り】随時募集します。

【送付先】本誌編集委員会

Mail:youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

## ◆年間購読継続手続きのお願い◆

いつもご愛読くださり、ありがとうございます。

次号春号からの年間購読を引き続きご希望の方は、更新手続きが必要となります。フレール館のホームページに入り、オンラインショップ「つばめのおうち」のバナーをクリック。その後、「定期購読」⇒「幼児の教育」の表紙絵をクリックします。

定期購読のサイクルは冬号で一区切りになります。ご不明の点などございましたら、youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp までお問い合わせください。

おかげさまで今年も無事に4号をお届けすることができました。今後ともどうぞお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

（編集委員会）